



日精エー・エス・ビー機械(株) 個人投資家向け会社説明会

ASB
Form Your Vision

2026年7月18日

日精エー・エス・ビー機械株式会社

(東証プライム：6284)



- I . ASBの基礎知識
- II . ASBの強み
- III . 成長戦略
- IV . 株主還元
- V . 参考資料・データ集



I . ASBの基礎知識

II . ASBの強み

III . 成長戦略

IV . 株主還元

V . 参考資料・データ集



会社名	日精イー・エス・ビー機械株式会社 NISSEI ASB MACHINE CO., LTD.
設立	1978年11月8日
代表者	代表取締役会長 青木高太 代表取締役社長 藤原誠
本社所在地	長野県小諸市甲4586番地3
従業員数	連結：2,198名、単体：215名（2026年3月末現在）
事業内容	ストレッチブロー成形機、金型、付属機器、部品の開発・製造・販売 およびアフターサービス



標高940mに位置する 風光明媚な小諸本社工場

経産省認定
グローバルニッチ
トップ企業
100選

売上高
(2026年9月期計画値)
500億円

営業利益
(2026年9月期計画値)
130億円

営業利益率
(2026年9月期計画値)
26.0%

海外売上比率
約90%

世界シェア
約60%

インド法人設立
1997年

インド生産比率
(2025年9月期実績)
約70%



東証プライム市場1,600社の中での当社のポジション

売上高
1,200位

営業
利益率
90位


上位
約**5%**

売上規模は小粒でも、利益率はトップクラスの隠れた優良企業

	売上高	営業利益	営業利益率
プライム市場 中央値	1,430億円	105億円	7.6%
機械セクター 中央値	1,290億円	98億円	9.3%
ASB (2026年9月計画値)	500億円	130億円	26%

(※2026年3月期プライム上場企業決算値との比較。当社調べ)



ウォーターサーバー



哺乳瓶



目薬



医薬品



飲料(水・炭酸水)



化粧品



食品(ジャム・マヨネーズ・ピクルスなど)



醤油・食用油



洗剤



日用品(食器用洗剤)



日用品(シャンプー)





当社はプラスチック容器の直接販売はしていません。

容器を製造する「機械・金型」のメーカーです。

単に機械・金型装置を販売するだけでなく、
その装置を使って、お客様が目指す品質と生産量を達成するための
「**量産技術の確立**」までを**パッケージ**としてご提供しております。

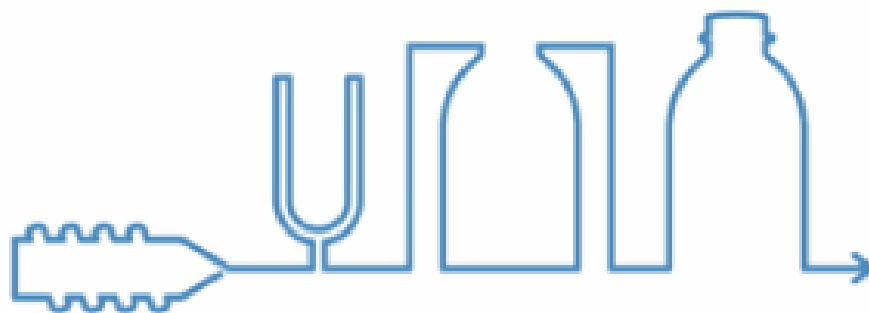


ASB

Form Your Vision

PET Container Molding Processes by ASB

PETボトルの作り方



<https://vimeo.com/1163438772>



I . ASBの基礎知識

II . ASBの強み

III . 成長戦略

IV . 株主還元

V . 参考資料・データ集



**日精エー・エス・ビー機械は、
単なるPETボトル成形機を販売するメーカー
ではなく、プラスチックボトル製造に関する
「トータルソリューションメーカー」
なのです**



容器の「デザイン」から「機械・金型の製造」、海外への「輸出」、
現地での「立ち上げ・保守」、更には品質の安定化までを一貫して提供できるメーカーです。



プラスチック容器生産ビジネス全般の総合コンサルティング



次に、

この「トータルソリューションメーカー」という特徴を、
更に、他社に負けない「強み」へと変換するために、
当社が特に注力している取り組みをご紹介します。



価格競争の少ない市場を見極める

- **非飲料市場**（ブルーオーシャン）
- **製品切り替えが多い、中小ロット生産市場**（金型交換が多い）
- **顧客基盤の多様化**（多業種・多品種・多地域市場で、特定地域・特定顧客に頼らない）

付加価値を高める

- **容器提案、開発、設計**（無償で対応。年間2,500件以上のデザイン依頼あり。様々な容器提案が可能）
- **カスタマーサポート**（エンジニアへの直結連絡、容器成形・品質までサポート、充実したグローバル体制）





価格競争の少ない市場を見極める

- **非飲料市場**（ブルーオーシャン）
- **製品切り替えが多い、中小ロット生産市場**（金型交換が多い）
- **顧客基盤の多様化**（多業種・多品種・多地域市場で、特定地域・特定顧客に頼らない）

付加価値を高める

- **容器提案、開発、設計**（無償で対応。年間2,500件以上のデザイン依頼あり。様々な容器提案が可能）
- **カスタマーサポート**（エンジニアへの直結連絡、容器成形・品質までサポート、充実したグローバル体制）





ブルーオーシャン市場で勝負する



一般的な飲料容器
レッドオーシャン

大量生産

価格競争

標準的
PETボトル

高付加価値

特殊形状

環境対応

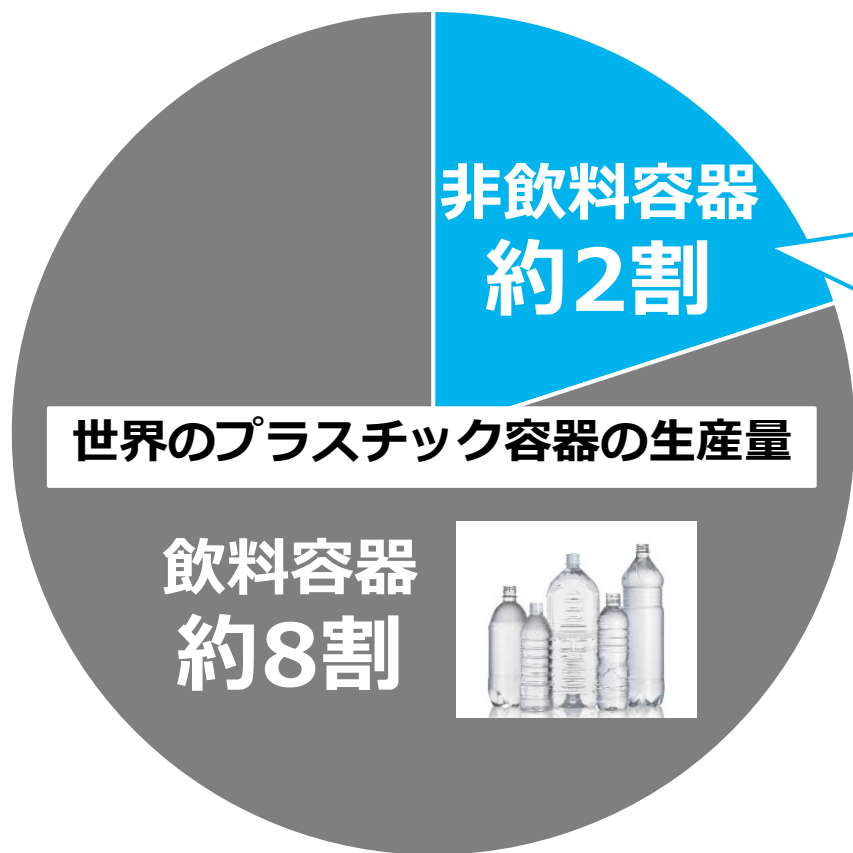
ブルーオーシャン
非飲料容器





中小ロット生産市場で勝負する

【非飲料容器】生産量は少ないが容器形状が多様多様
→ASBの技術力が活かせる市場



(当社推定を含む)



化粧品



医薬品



食品



日用品



特定の地域に依存しない

「欧米50%：アジア50%」の地域構成
地域と顧客の分散により、価格競争を避け、経営を安定化

欧州
20%

東アジア
18%
(日本売上=約10%)

南・西アジア
32%

米州
30%

- 米州：北中南米アメリカ
- 欧州：欧州全域, ロシア, トルコ, 北部・南部アフリカ
- 南・西アジア：東南アジア, 北アジア, インド, 中東, 東部・西部アフリカ
- 東アジア：日本, 中国, 韓国, 台湾

(売上比率は直近10年間の平均値)



価格競争の少ない市場を見極める

- 非飲料市場（ブルーオーシャン）
- 製品切り替えが多い、中小ロット生産市場（金型交換が多い）
- 顧客基盤の多様化（多業種・多品種・多地域市場で、特定地域・特定顧客に頼らない）

付加価値を高める

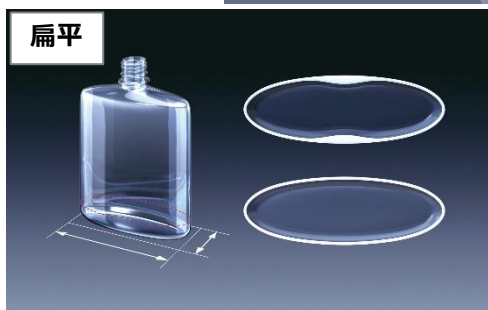
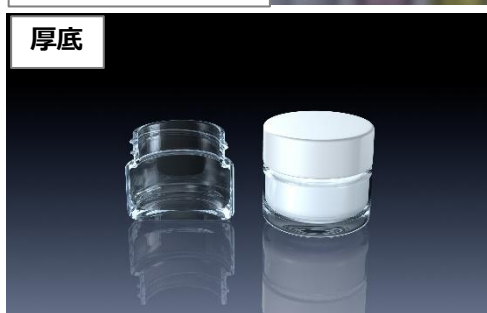
- 容器提案、開発、設計（無償で対応。年間2,500件以上のデザイン依頼あり。様々な容器提案が可能）
- カスタマーサポート（エンジニアへの直結連絡、容器成形・品質までサポート、充実したグローバル体制）





お客様が最終的に欲しいのは「機械」ではなく「容器」

- ほとんどのお客様から、まず「このような容器が欲しい」とアプローチ
- 世界各地に配置された「容器デザイナー」が年間2,500件以上の容器デザインに対応





グローバルな「カスタマーサポート」で充実の顧客サービス



テクニカルサポートセンター
(ドイツ、デュッセルドルフ)

インド工場 (インド、ムンバイ)



ASB本社/工場 (長野県小諸市)



ドイツ
スペイン

UAE

本社・工場

インド工場



千曲川工場 (長野県佐久市)

シンガポール

メキシコ

テクニカルサポートセンター
(メキシコ、メキシコシティ)



テクニカルサポートセンター
(アメリカ、アトランタ)

ブラジル



これまで、当社の競争力を高める「注力分野」をお伝えしましたが、それだけで、

『本当に他社が真似できない圧倒的な強みであるのか？』
と思われるかもしれません。

実は、**当社の競争力を決定づける、もう一つの原動力**がございます。
それが、当社の『**インド工場**』です。

それでは、詳細をご説明いたします。



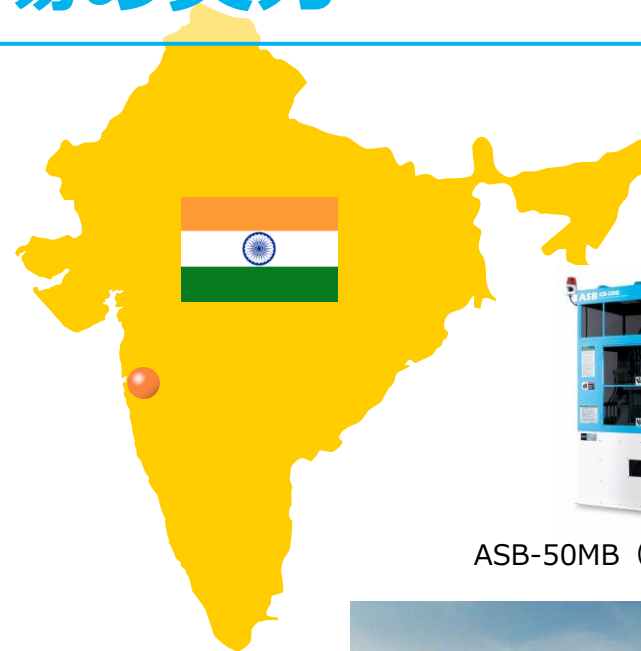
インドマザー工場の実力

圧倒的な供給力と短納期体制

1997年に進出したインド工場はASBの「マザー工場」
1,700名超のインド人社員が日本品質のもの作りを実践し、
コスト競争力と生産性、納期、品質を高いレベルで実現

特に金型は世界最大級の生産工場と自負

- 【金型】・生産体制は「24時間/週7日」の高稼働
- ・競合他社を圧倒する「短納期」を実現
- ・年間生産型数1,500型以上



ASB-50MB（インド生まれのベストセラー機）

ASB INTERNATIONAL PVT. LTD.

（100%出資のインド子会社）

マハラシュトラ州アンベルナス市(ムンバイ郊外)

設立：1997年2月

資本金：937百万ルピー(2025年9月末現在)

従業員数：1,751名(2026年3月末現在)





- **【過去：なぜインドへ】**
当時（1997年以前）は、日本企業がほぼ皆無の時代。
優秀な人材の多さに驚き、将来性を見越して大規模投資を決断。
- **【現在：圧倒的な成果】**
世界中へ機械・金型を輸出。
今や当グループ売上の8割に関与する重要拠点。
- **【未来：多面的な進化】**
単なる生産工場の枠を超え、
グループ全体の「IT拠点」「人材育成拠点」として活用予定。





I . ASBの基礎知識

II . ASBの強み

III . 成長戦略

IV . 株主還元

V . 参考資料・データ集



主なキーワードは「ニッチ・付加価値・グローバル」



飲料市場のトレンド変化に
独自技術で市場創出

- ・地産地消の中規模飲料市場
- ・リターナブルPETボトル市場

ニッチ 付加価値 売上拡大

飲料市場開拓

ニッチで高付加価値な
飲料市場の開拓

ニッチ 付加価値 売上拡大

異素材対応

リサイクル材料や
代替素材への対応



ASBの独自技術で
異素材成形を極める

- ・リサイクルPET
- ・ポリエチレン樹脂
- ・生分解性樹脂など

付加価値 グローバル 利益拡大

カスタマーサポート

DXで顧客満足向上
ストックビジネス拡大

DXサービスでストックビジネス拡大
IoT技術で顧客の生産性を改善

- ・遠隔サポート
- ・スマート保守
- ・eコマース



付加価値 グローバル サステナブル経営



成長投資

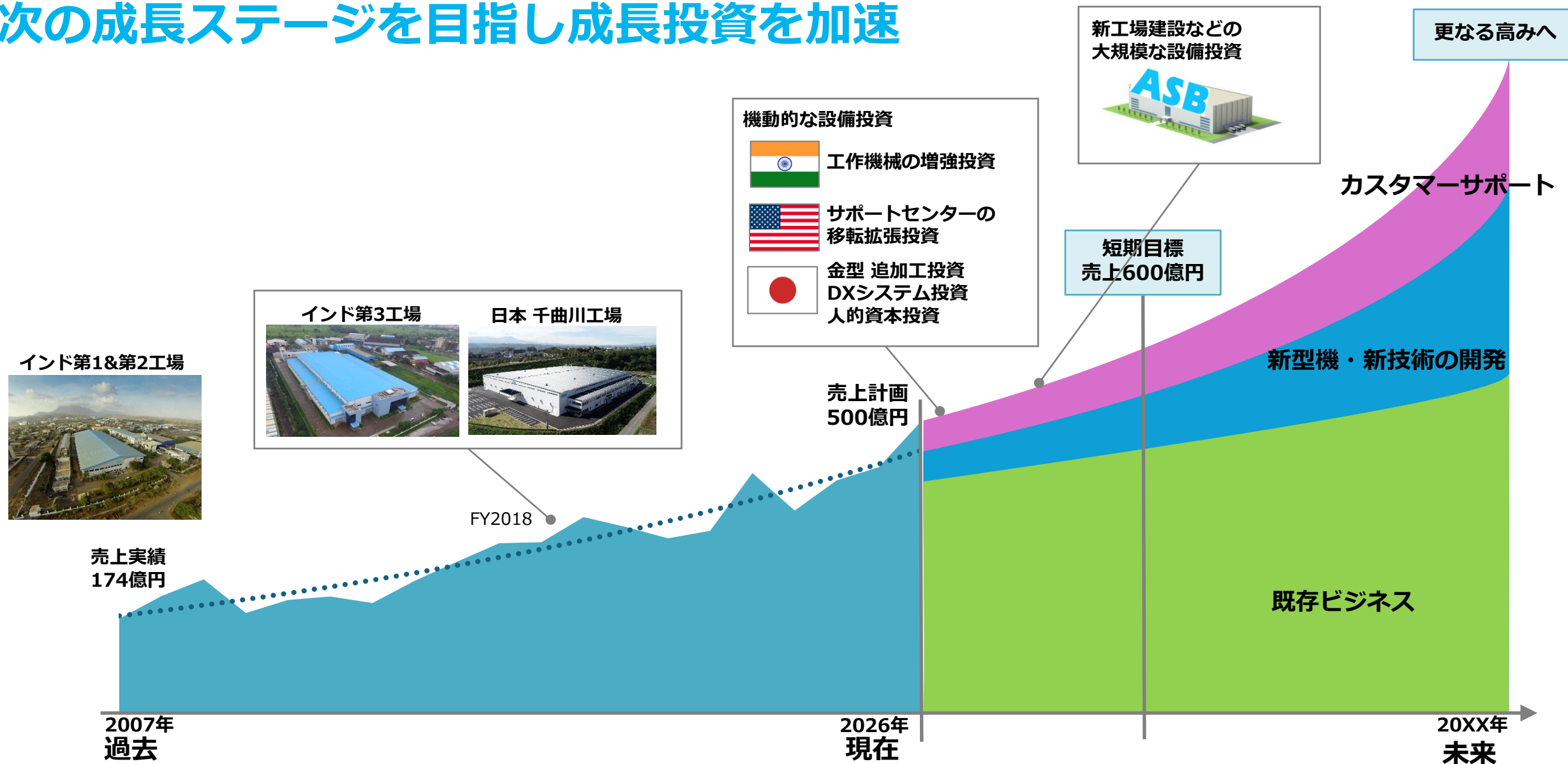
売上拡大に向けた
積極的な投資と開発

ヒト・モノ・システムへの
投資で次のステージへ飛躍

- ・新工場への投資
- ・DXシステム投資
- ・人的資本投資



次の成長ステージを目指し成長投資を加速





I . ASBの基礎知識

II . ASBの強み

III . 成長戦略

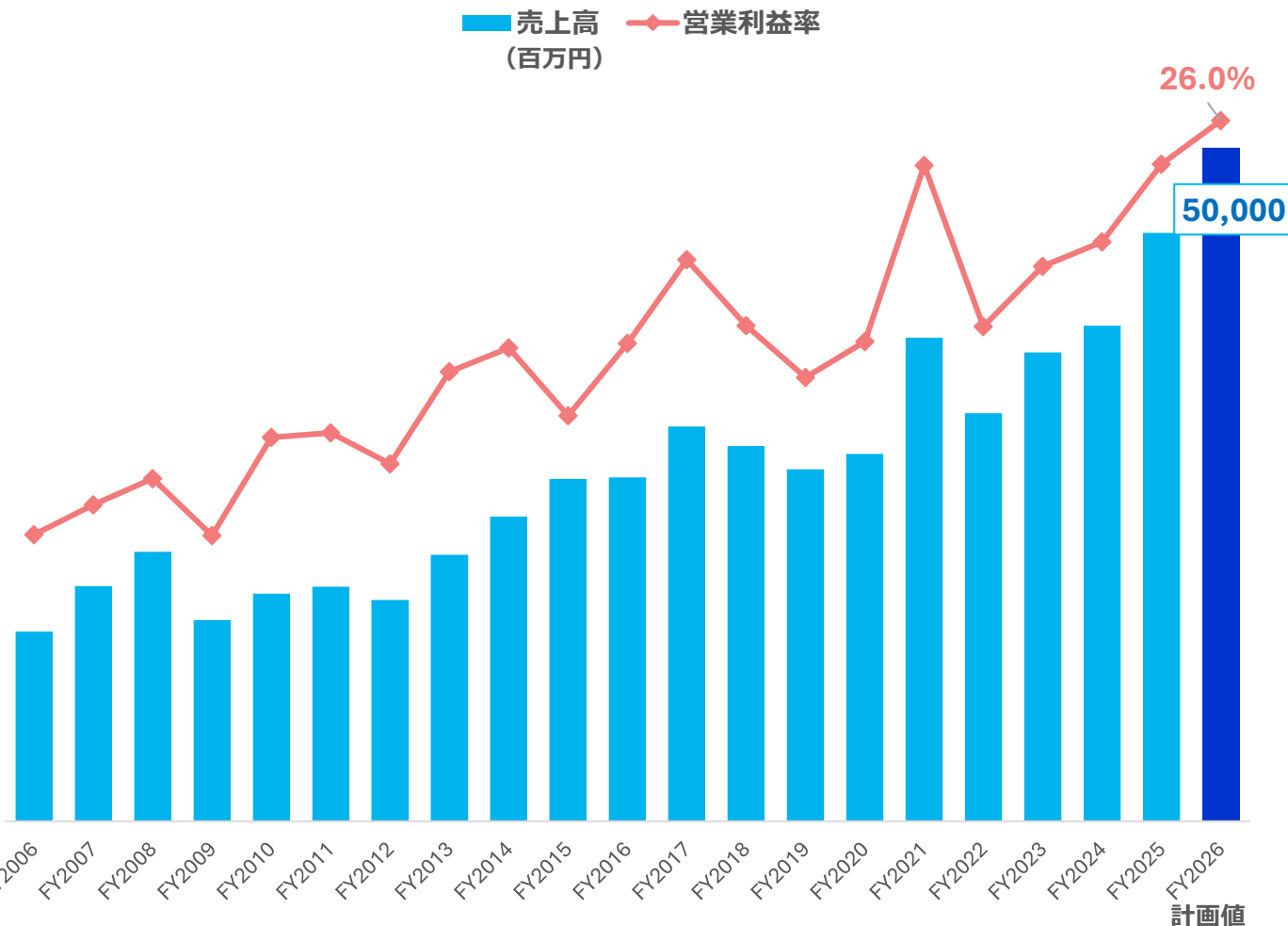
IV . 株主還元

V . 参考資料・データ集



長期にわたる安定成長と高い利益率

■ 売上高
(百万円) ◆ 営業利益率



過去20年の伸び率（2006年～2025年）

売上高

約3倍

営業利益

約7倍

直近5年の利益指標の平均値（2021年～2025年）

営業利益率

約22%

ROE

約14%

今期計画（2026年9月期）

売上高

500億円

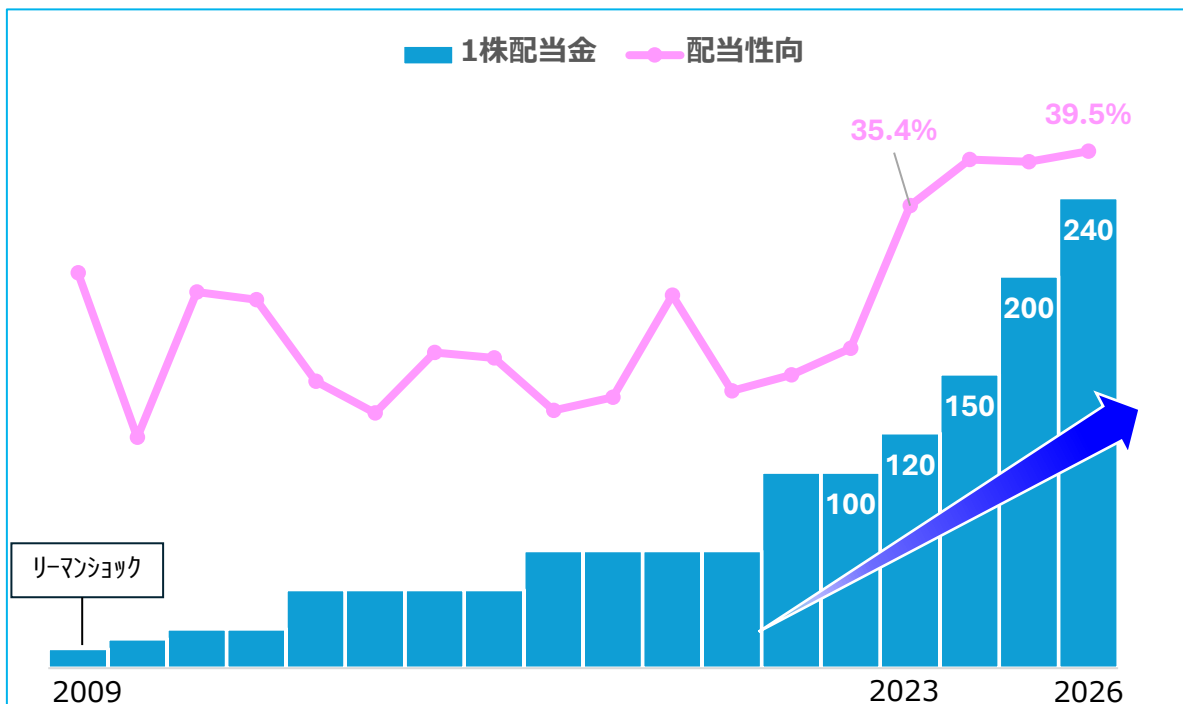
営業利益率

26%



連結配当性向40%を目途とした安定配当をコミット

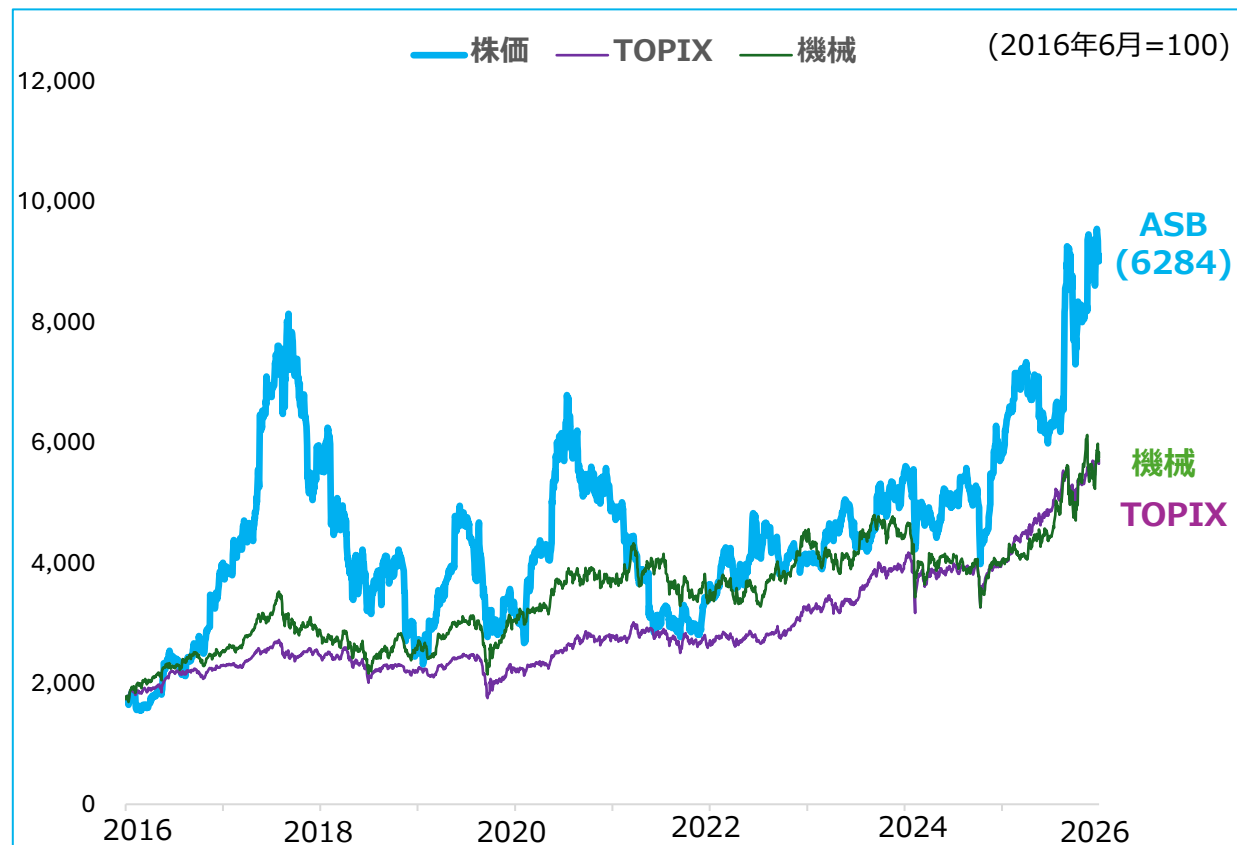
配当方針と実績



40%
連結配当性向

- ・ 継続的かつ安定的な配当をコミット
- ・ リーマンショック以降は減配実績なし
- ・ 実質的な累進配当

株価パフォーマンス



直近10年間ではTOPIXと機械銘柄を継続してアウトパフォーム



日精ASB機械は、単なるPETボトル成形機メーカーではなく、プラスチックボトル製造に関する「トータルソリューションメーカー」

- 容器開発、機械と金型の製造販売、容器成形の**アフターサービス**をワンストップで提供
- マーケティングの基本戦略は**価格競争が少ない市場での付加価値の向上**
- **インドのマザー工場**は**世界最大級の金型工場**として「24時間/週7日」の高稼働
- 独自のビジネスモデルで、PETボトル成形機の**非飲料分野**では**世界シェア60%**
- 売上規模は小粒ながら、**利益率**では**プライム企業の上位5%に入るニッチトップ企業**
- 今後も「**ニッチ・付加価値・グローバル**」の成長戦略で売上拡大を目指す
- 成長の果実は「**連結配当性向40%**」の配当方針で**株主の皆様**に**利益還元**



I . ASBの基礎知識

II . ASBの強み

III . 成長戦略

IV . 株主還元

V . 参考資料・データ集



(出典：PETボトルリサイクル推進協議会)

1974年
米国でPETボトル炭酸飲料が発売

1977年
日本でPETボトルしょうゆ容器が発売

1995年
容器包装リサイクル法成立

1996年
小型PETボトル販売の自主規制廃止

2004年
ボトルtoボトルによる
リサイクルPETボトル誕生

2019年
プラスチック資源循環戦略
を閣議決定

2022年
プラスチック
資源循環促進法施行

2026年
欧州でPPWR適用開始
(PPWR:包装・包装廃棄物規則)

1970～1980年代

1990年代

2000年代

2010年代

2020年代

1978年
長野県坂城町に当社設立

1979年
ストレッチブロー成形機の基本特許取得
1-Step機 ASBシリーズ商品化

1980年代
リサイクルPET樹脂の成形試験を開始
アメリカほか販社の海外展開を開始

1987年
長野県小諸市に本社を移転

1990年
株式会社店頭登録

1997年
インド法人設立
(2000年インド第1工場稼働)



2001年
インド製のベストセラー
1-Step機 ASB-50MB商品化

2002年
国際展示会でリサイクルPET
100%のボトル成形を実演

2004年
ジャスダック上場

2008年
環境省のPETボトルリユース
実証実験に参画

2012年
東証二部上場

2013年
インド第2工場開設
東証一部上場

2018年
千曲川工場開設(長野県佐久市)
インド第3工場開設
1.5-Step機 PF36商品化

2019年
ゼロ・クーリングシステム開発



2020年
IoT対応の制御技術
Vision1開発

2021年
新工場用地取得
(長野県佐久市臼田)

2022年
プライム市場に移行





経産省認定
グローバルニッチ
トップ企業
100選

海外売上比率
約90%

海外販売実績
約130カ国

世界シェア
約60%

連結従業員数
(2026年3月末時点)
2,198人
(内インド 1,751人)

海外拠点数
14社
(製造拠点：インドと日本)

インド法人設立
1997年

インド生産比率
(2025年9月期実績)
約70%

売上高
(2026年9月期計画値)
500億円

営業利益
(2026年9月期計画値)
130億円

営業利益率
(2026年9月期計画値)
26.0%

ROE
(2026年9月期計画値)
14.7%

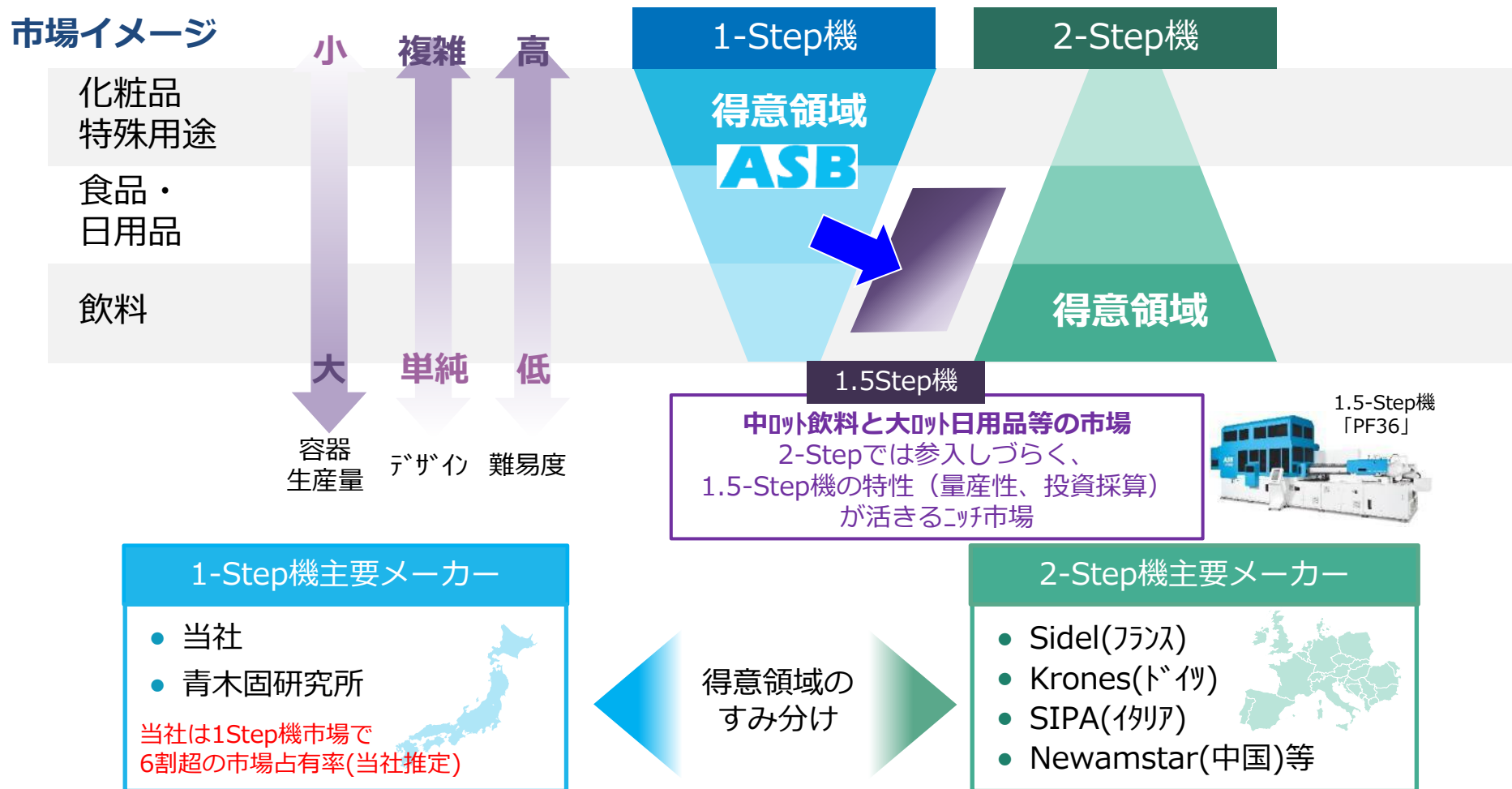
グローバルニッチトップ

インド銘柄

高収益



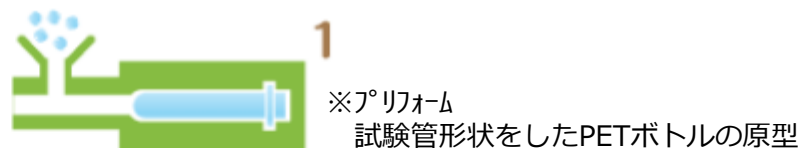
1-Step機をメイン市場とし、1.5-Step機の市場を開拓





ストレッチブロー成形とは？ → PETボトルの成形方法のひとつ

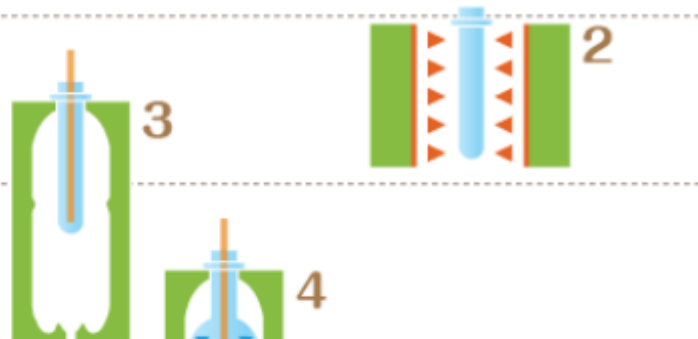
- 1 溶かした樹脂を金型に流し込み
プリフォームを成形し、冷却後に
取り出し。



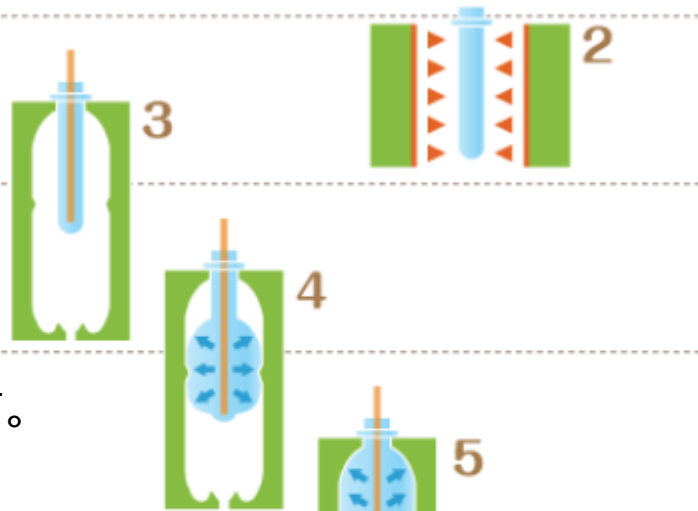
- 2 プリフォームを約100度まで
再加熱。



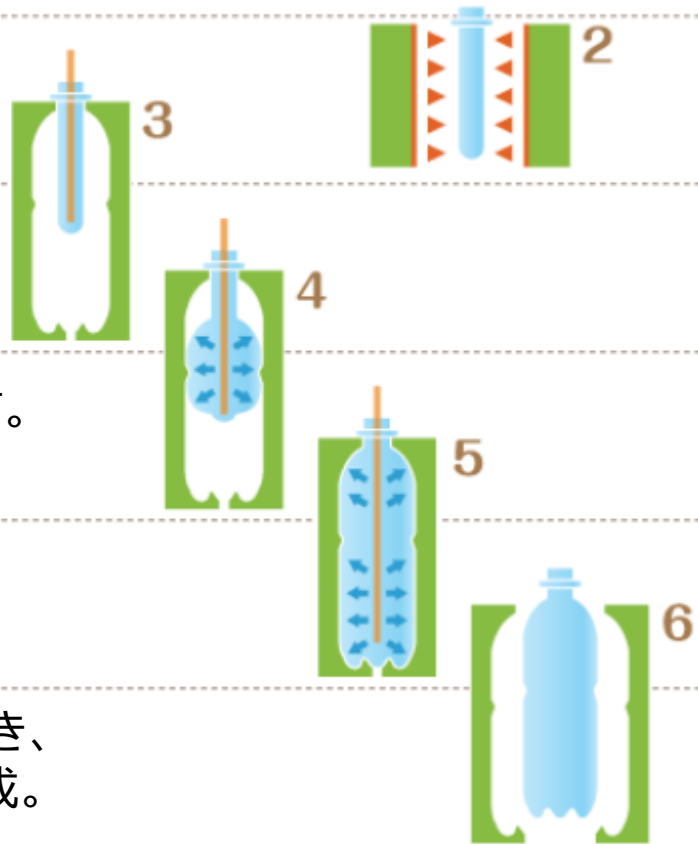
- 3 プリフォームをボトル成形用
金型に挿入。



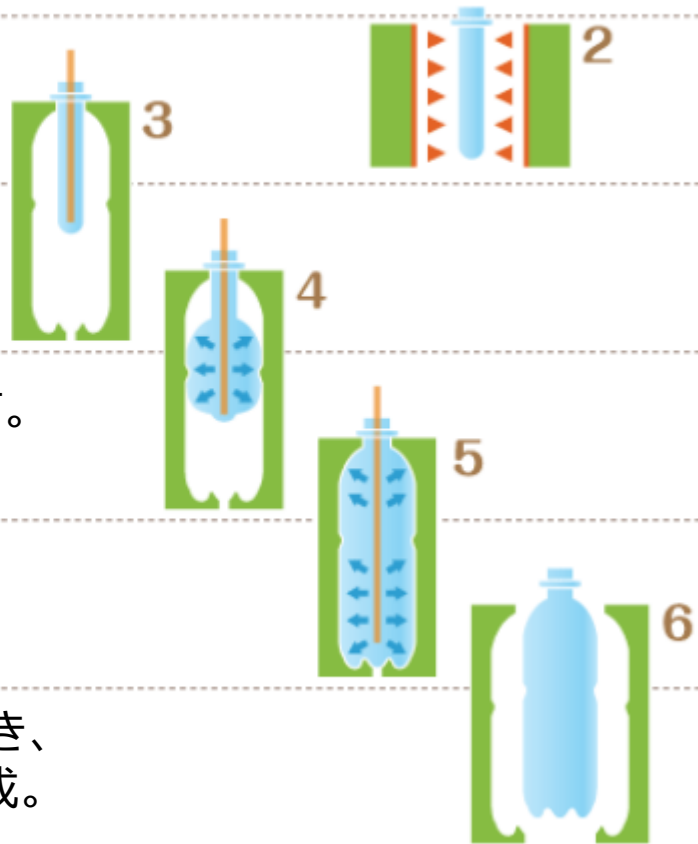
- 4 棒でプリフォームを縦に伸ばす。
⇒ **ストレッチ!!!**



- 5 高圧空気で膨らます。
⇒ **ブロー!!!**



- 6 冷却後にボトル用金型を開き、
PETボトルを取り出して完成。



【豆知識】

PET樹脂は伸ばせば伸ばすほど
樹脂の結びつきが強くなり
強度が増すという特性があります。
そのため、ストレッチブロー成形は
PET樹脂に最も適した成形方法と
言われています。

(参考：PETボトルリサイクル推進協議会HP)



利便性と環境性能に優れるPETボトル

		 PETボトル 600ml 炭酸水 (20本入)	 アルミ缶 350ml 炭酸水 (12本入)	 ガラス瓶 350ml 炭酸水 (12本入)
利便性	重量 	22.2g	12.7g	208g
	デザイン性 	◎	×	○
	取り扱い 	○	○	×
環境性能 ※	廃棄物発生量 	1倍	3倍以上	14倍以上
	電力使用量 	1倍	3倍以上	5倍以上
	CO2排出量 	1倍	2倍以上	5倍以上

(※1,000ガロン(3,785リットル)あたりの環境性能比較)

出典:NAPCOR (全米ペット容器資源協会)



3期連続での最高収益更新を目指す

(金額単位：百万円)

	2025年9月期		2026年9月期				前年比	
	通期実績		上期実績		通期予想			
	A	%	B	%	C	%	C-A	C/A
売上高	43,654	100.0%	24,041	100.0%	50,000	100.0%	+6,345	+14.5%
営業利益	10,641	24.4%	6,506	27.1%	13,000	26.0%	+2,358	+22.2%
経常利益	10,912	25.0%	6,680	27.8%	13,100	26.2%	+2,187	+20.0%
純利益 ^(*1)	7,740	17.7%	4,784	19.9%	9,100	18.2%	+1,359	+17.6%
1株純利益	516.36	-	319.14	-	607.03	-	+90.66	+17.6%
1株配当金	200.00	-	-	-	240.00	-	+40.00	+20.0%
配当性向	38.7	-	-	-	39.5	-	+0.80	-
ROE	13.9	-	-	-	14.7	-	+0.8	-
ROIC	11.4	-	-	-	13.0	-	+1.6	-



(Mn JPY)

		FY2016	FY2017	FY2018	FY2019	FY2020	FY2021	FY2022	FY2023	FY2024	FY2025
受注高	Orders received	23,010	30,694	28,854	26,056	34,248	32,959	33,223	35,181	41,103	43,172
受注残高	Order backlog	7,656	9,060	10,080	9,508	15,471	12,451	15,048	14,716	18,454	17,281
売上高	Net sales	25,526	29,289	27,834	26,129	27,254	35,890	30,277	34,798	36,778	43,654
営業利益	Operating profit	4,525	6,104	5,120	4,304	4,850	8,735	5,556	7,166	7,907	10,641
(%)		17.7%	20.8%	18.4%	16.5%	17.8%	24.3%	18.4%	20.6%	21.5%	24.4%
経常利益	Ordinary profit	4,123	6,954	5,281	4,193	4,669	9,576	8,927	6,953	8,008	10,912
(%)		16.2%	23.7%	19.0%	16.0%	17.1%	26.7%	29.5%	20.0%	21.8%	25.0%
純利益 ^(*1)	Net income	2,532	4,571	4,349	3,154	4,239	6,680	6,130	5,085	5,779	7,740
(%)		9.9%	15.6%	15.6%	12.1%	15.6%	18.6%	20.2%	14.6%	15.7%	17.7%
総資産額	Total assets	32,296	42,066	47,699	45,852	57,899	64,276	68,956	70,195	72,761	78,386
純資産額	Net assets	19,502	25,413	27,237	28,829	31,384	37,901	45,903	50,384	52,848	58,946
1株純利益 ^(*2)	EPS	168.66	304.42	289.61	210.34	282.80	445.60	408.97	339.23	385.52	516.36
1株純資産 ^(*2)	BPS	1,298.65	1,692.32	1,813.41	1,922.00	2,092.08	2,526.30	3,059.44	3,358.21	3,522.27	3,928.27
1株配当金 ^(*2)	DPS	40	60	60	60	60	100	100	120	150	200
配当性向	DPR	23.7%	19.7%	20.7%	28.5%	21.2%	22.4%	24.5%	35.4%	38.9%	38.7%
純資産配当率	DOE	3.1%	4.0%	3.4%	3.2%	3.0%	4.3%	3.6%	3.7%	4.4%	5.4%
ROE		13.0%	20.4%	16.5%	11.3%	14.1%	19.3%	14.6%	10.6%	11.2%	13.9%
ROIC		12.3%	14.0%	9.7%	7.8%	7.2%	11.9%	6.8%	8.3%	9.1%	11.4%
ROA		7.7%	12.3%	9.7%	6.7%	8.2%	10.9%	9.2%	7.3%	8.1%	10.2%

(*1: 親会社株主に帰属する当期純利益, Net income : Profit attributable to owners of parent *2: 1株あたり(単位: 1円, Unit : 1 JPY))



(Mn JPY)

四半期推移 Quarterly		FY2025								FY2026							
		Q1		Q2		Q3		Q4		Q1		Q2		Q3		Q4	
受注高	Orders received	12,475	-	10,430	-	9,831	-	10,434	-	15,419	-	13,237	-	-	-	-	-
受注残高	Order backlog	21,400	-	19,247	-	17,962	-	17,281	-	21,312	-	21,850	-	-	-	-	-
売上高	Net sales	9,440	100.0%	12,462	100.0%	10,852	100.0%	10,900	100.0%	11,341	100.0%	12,699	100.0%	-	-	-	-
売上原価	Cost of sales	5,017	53.2%	6,619	53.1%	5,400	49.8%	6,035	55.4%	5,887	51.9%	6,261	49.3%	-	-	-	-
売上総利益	Gross profit	4,422	46.8%	5,843	46.9%	5,452	50.2%	4,864	44.6%	5,453	48.1%	6,438	50.7%	-	-	-	-
販管費	SG&A	2,364	25.0%	2,423	19.4%	2,470	22.8%	2,681	24.6%	2,867	25.3%	2,518	19.8%	-	-	-	-
営業利益	Operating profit	2,057	21.8%	3,419	27.4%	2,981	27.5%	2,183	20.0%	2,586	22.8%	3,920	30.9%	-	-	-	-
経常利益	Ordinary profit	2,459	26.1%	3,285	26.4%	2,899	26.7%	2,268	20.8%	2,735	24.1%	3,945	31.1%	-	-	-	-
純利益 ^(*)	Net income	1,711	18.1%	2,297	18.4%	2,037	18.8%	1,694	15.5%	1,899	16.7%	2,884	22.7%	-	-	-	-

四半期累計 Cumulative		FY2025								FY2026							
		Q1		Q1-Q2		Q1-Q3		Q1-Q4		Q1		Q1-Q2		Q1-Q3		Q1-Q4	
受注高	Orders received	12,475	-	22,906	-	32,738	-	43,172	-	15,419	-	28,657	-	-	-	-	-
受注残高	Order backlog	21,400	-	19,247	-	17,962	-	17,281	-	21,312	-	21,850	-	-	-	-	-
売上高	Net sales	9,440	100.0%	21,902	100.0%	32,754	100.0%	43,654	100.0%	11,341	100.0%	24,041	100.0%	-	-	-	-
売上原価	Cost of sales	5,017	53.2%	11,637	53.1%	17,037	52.0%	23,073	52.9%	5,887	51.9%	12,149	50.5%	-	-	-	-
売上総利益	Gross profit	4,422	46.8%	10,265	46.9%	15,717	48.0%	20,581	47.1%	5,453	48.1%	11,892	49.5%	-	-	-	-
販管費	SG&A	2,364	25.0%	4,788	21.9%	7,259	22.2%	9,940	22.8%	2,867	25.3%	5,385	22.4%	-	-	-	-
営業利益	Operating profit	2,057	21.8%	5,476	25.0%	8,457	25.8%	10,641	24.4%	2,586	22.8%	6,506	27.1%	-	-	-	-
経常利益	Ordinary profit	2,459	26.1%	5,745	26.2%	8,644	26.4%	10,912	25.0%	2,735	24.1%	6,680	27.8%	-	-	-	-
純利益 ^(*)	Net income	1,711	18.1%	4,008	18.3%	6,046	18.5%	7,740	17.7%	1,899	16.7%	4,784	19.9%	-	-	-	-



(Mn JPY)

製品別 四半期推移			FY2024				FY2025				FY2026			
Quarterly Trends by Product			Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4
受注 Order	成形機	Machine	5,907	5,162	6,208	4,829	6,098	5,169	4,856	4,954	8,470	6,564	-	-
	金型	Molds	2,957	2,677	3,018	2,530	4,202	3,084	3,169	3,461	4,514	4,246	-	-
	付属機器	AUX	676	498	799	503	693	680	558	610	801	677	-	-
	部品その他	Parts	1,372	1,340	1,305	1,315	1,480	1,496	1,247	1,406	1,633	1,748	-	-
	合計	Total	10,913	9,679	11,331	9,179	12,475	10,430	9,831	10,434	15,419	13,237	-	-
売上 Sales	成形機	Machine	3,516	3,815	5,352	5,334	4,570	6,970	5,528	5,467	5,405	6,634	-	-
	金型	Molds	2,947	3,119	2,522	3,128	2,881	3,341	3,322	3,216	3,709	3,727	-	-
	付属機器	AUX	350	353	652	523	559	728	703	716	623	639	-	-
	部品その他	Parts	1,228	1,316	1,283	1,333	1,429	1,422	1,298	1,500	1,603	1,698	-	-
	合計	Total	8,043	8,605	9,810	10,319	9,440	12,462	10,852	10,900	11,341	12,699	-	-
注残 Backlog	成形機	Machine	9,556	10,680	11,451	10,863	12,349	10,504	9,675	8,997	12,052	11,982	-	-
	金型	Molds	6,432	5,952	6,416	5,771	7,051	6,717	6,471	6,679	7,462	7,981	-	-
	付属機器	AUX	1,209	1,353	1,499	1,477	1,607	1,559	1,405	1,290	1,453	1,491	-	-
	部品その他	Parts	321	343	359	342	392	465	409	314	344	394	-	-
	合計	Total	17,518	18,330	19,726	18,454	21,400	19,247	17,962	17,281	21,312	21,850	-	-



(Mn JPY)

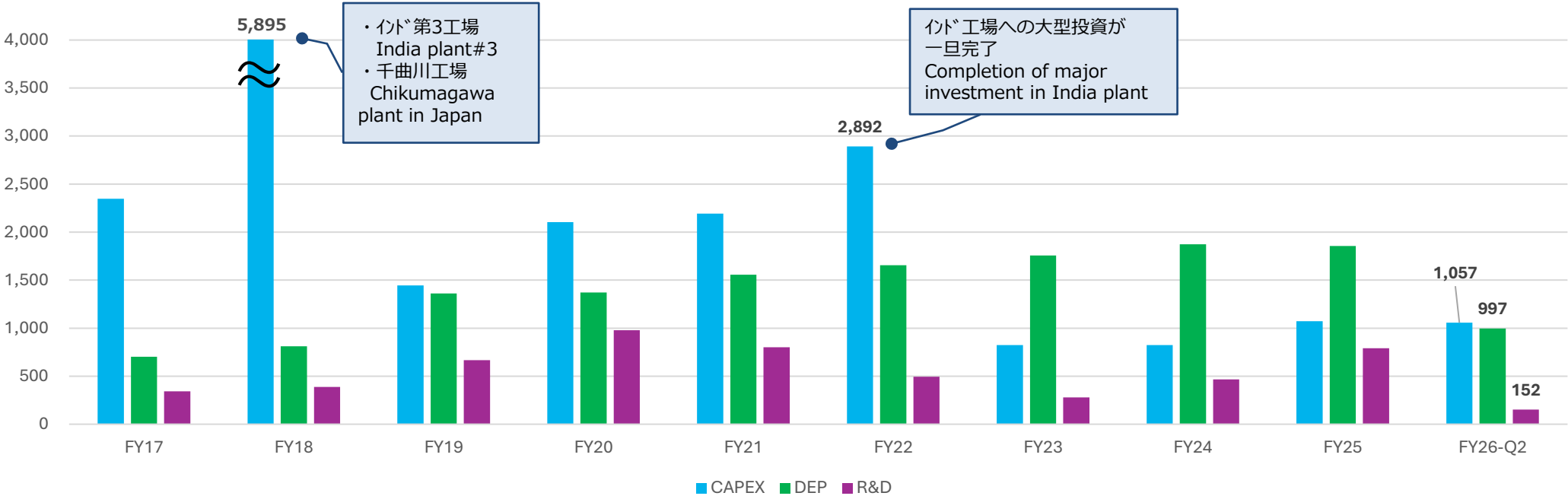
地域別 四半期推移 Quarterly Trends by Region			FY2024				FY2025				FY2026			
			Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4
受注 Order	米州	Americas	3,516	3,117	3,214	2,987	4,237	2,930	3,203	4,101	5,661	4,944	-	-
	欧州	Europe	1,802	1,922	1,939	1,809	2,401	2,365	2,467	2,480	2,878	2,939	-	-
	南・西アジア	South/West Asia	2,920	2,662	3,064	2,786	3,914	3,182	2,770	2,544	4,526	4,272	-	-
	東アジア	East Asia	2,674	1,976	3,112	1,595	1,922	1,952	1,390	1,308	2,353	1,081	-	-
	合計	Total	10,913	9,679	11,331	9,179	12,475	10,430	9,831	10,434	15,419	13,237	-	-
売上 Sales	米州	Americas	2,988	3,009	3,365	2,755	2,990	3,966	4,215	2,946	3,732	4,400	-	-
	欧州	Europe	1,680	1,649	2,055	2,230	1,610	2,206	2,045	2,221	2,393	2,735	-	-
	南・西アジア	South/West Asia	2,484	2,781	2,434	3,073	2,940	3,441	3,205	3,454	3,364	3,576	-	-
	東アジア	East Asia	890	1,164	1,955	2,259	1,898	2,847	1,385	2,277	1,851	1,986	-	-
	合計	Total	8,043	8,605	9,810	10,319	9,440	12,462	10,852	10,900	11,341	12,699	-	-
注残 Backlog	米州	Americas	5,239	5,346	5,195	5,427	6,671	5,574	4,498	5,652	7,582	8,126	-	-
	欧州	Europe	2,258	2,531	2,416	1,995	2,786	2,944	3,366	3,625	4,110	4,313	-	-
	南・西アジア	South/West Asia	5,165	4,785	5,383	4,964	5,903	5,585	5,015	4,035	5,150	5,846	-	-
	東アジア	East Asia	4,854	5,666	6,730	6,067	6,038	5,142	5,082	3,967	4,469	3,564	-	-
	合計	Total	17,518	18,330	19,726	18,454	21,400	19,247	17,962	17,281	21,312	21,850	-	-



(Mn JPY)

上期実績 通期計画 進捗

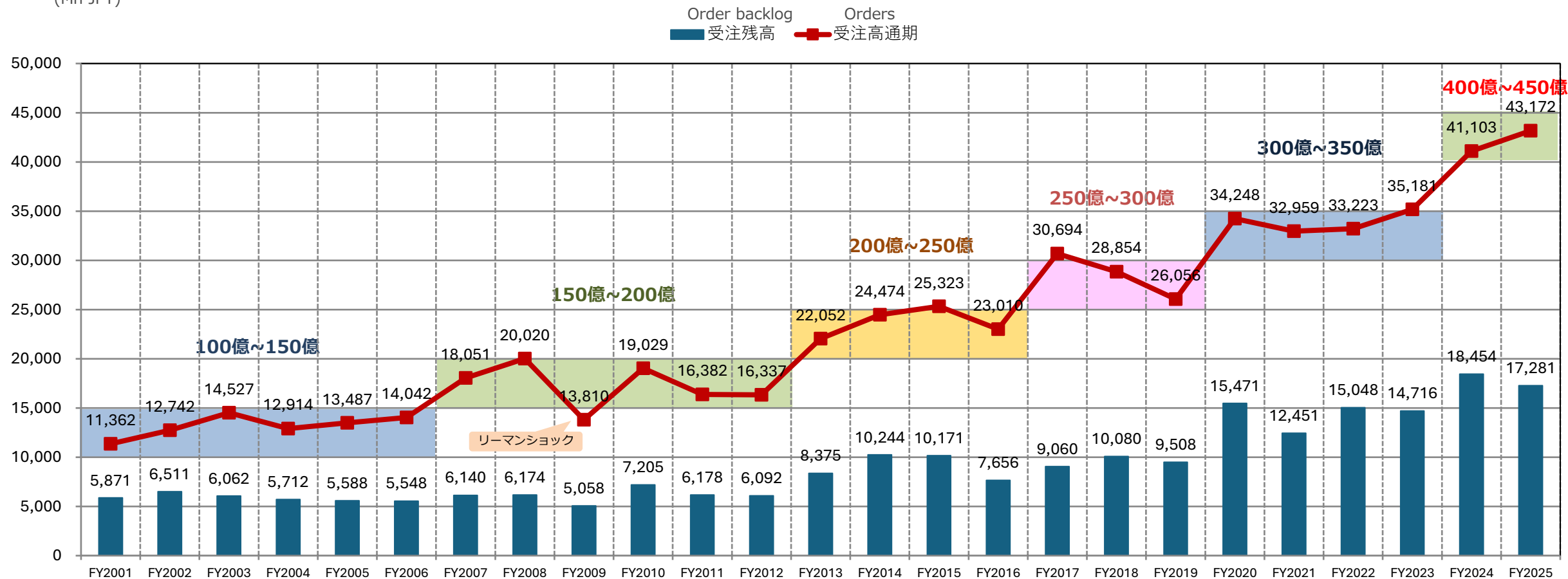
		FY17	FY18	FY19	FY20	FY21	FY22	FY23	FY24	FY25	FY26-Q2	26FCST	Progress
設備投資	Capital Investment	2,348	5,895	1,445	2,103	2,192	2,892	825	823	1,073	1,057	2,000	53%
減価償却費	Depreciation	701	810	1,361	1,371	1,556	1,654	1,756	1,873	1,856	997	2,000	50%
研究開発費	R&D expenses	343	388	668	979	800	495	278	467	790	152	600	25%



受注高・受注残高の長期推移



(Mn JPY)



約8年
(1998年～) インドへの進出

約6年
インドでの成形機生産による
効果増大化 (軌道に乗る)

約4年
金型インド生産本格化
大型機開発 (量産性追求)

約3年
生産能力増強
ZC,PF36開発
(*ZC: Zero Cooling system)
(ASB独自の高品質成形法)

約4年
製品競争力向上
ZC,PF36定着

売上500億円
への挑戦



経営理念

人と社会に豊かさを提供する

ASBは、PETボトルを広く世界に、より多くの用途で普及させていく事業を通じ、人々が便利で、より豊かな生活を営むことができるようにします。

高い技術、サービスで恒久的な存続を追求する

ASBは、継続的な技術開発、サービス対応を心がけ、競争力のある高品質、高性能、低価格な商品を提供し、社会から高い信頼を得られるよう尽力します。

行動指針(ASB Values)

顧客満足の追求

継続的改善への試み

規律と活力ある職場



ASB

Form Your Vision

IRに関するお問い合わせ先

日精エー・エス・ビー機械株式会社 経理部

TEL : 0267-23-1560

e-mail : ir-info@nisseiasb.com

website : <https://www.nisseiasb.co.jp/ja/>

将来見通し等に関する注意事項

本資料につきましては投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。
本資料における、将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。
また、将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。
また、業界等に関する記述につきましても、信頼できるとされる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、お客様ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任は負いません。